

2023年度

環境活動レポート

対象期間：2023年10月～2024年9月



2024 年 12 月 13日発行

有限会社 テイアイコレクション

目 次

1.組織の概要	〈2〉～〈5〉
2.対象範囲	〈5〉
3.環境方針	〈6〉
4.環境負荷の推移	〈7〉
5.環境目標	〈7〉
6.環境活動計画	〈8〉
7.環境目標の実績	〈9〉
8.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組のポイント	〈9〉～〈10〉
9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	〈11〉
10.代表者による全体評価と見直しの結果	〈11〉
11.その他環境活動	〈12〉～〈18〉

1.組織の概要

(1)事業者及び代表者名

有限会社 ティアイコレクション
代表取締役 荒井 知秀

(2)所在地

〒321-2118 栃木県宇都宮市新里町丁1123番地1



施設全景

(3)環境保全管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 齋藤 政行
連絡先 TEL:028-665-7110 FAX:028-665-7112

(4)事業内容

産業廃棄物中間処理業
建築物の解体業

(5)設立年月日及び事業の規模

設立年月日	平成4年12月18日
資本金	1,000万円
売上高	売上高区分「A」:5億円未満
従業員数	25人
敷地面積	3,120㎡



作業状況

(6)組織図



(7) 許可の内容

名称	許可自治体	許可番号	許可年月日	有効期限
古物商	栃木県	第411010001117号	平成8年4月17日	
産業廃棄物収集運搬業	栃木県	00900008401	令和2年4月5日	令和7年4月4日
産業廃棄物中間処分業 (破碎)	宇都宮市	08420008401	平成10年7月31日	令和10年7月30日
建設業許可 (解体業)	栃木県	(般一1)第21800号	令和1年9月1日	令和11年8月31日

産業廃棄物収集運搬の許可の種類

栃木県	積替えなし	・汚泥(水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を含む) ・廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む) ・木くず ・ゴムくず ・金属くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む) ・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず (石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む) ・がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)
-----	-------	--

産業廃棄物中間処理の許可の種類

宇都宮市	・廃プラスチック類 ・木くず ・ゴムくず ・金属くず ・ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず ・がれき類 (ただし、いずれも石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を除く。)
------	---

(8) 設備等の内容

(収集運搬関係)

運搬車両

用途	車 種	台 数
産業廃棄物収集運搬等	4t車	1 台

(中間処理関係)

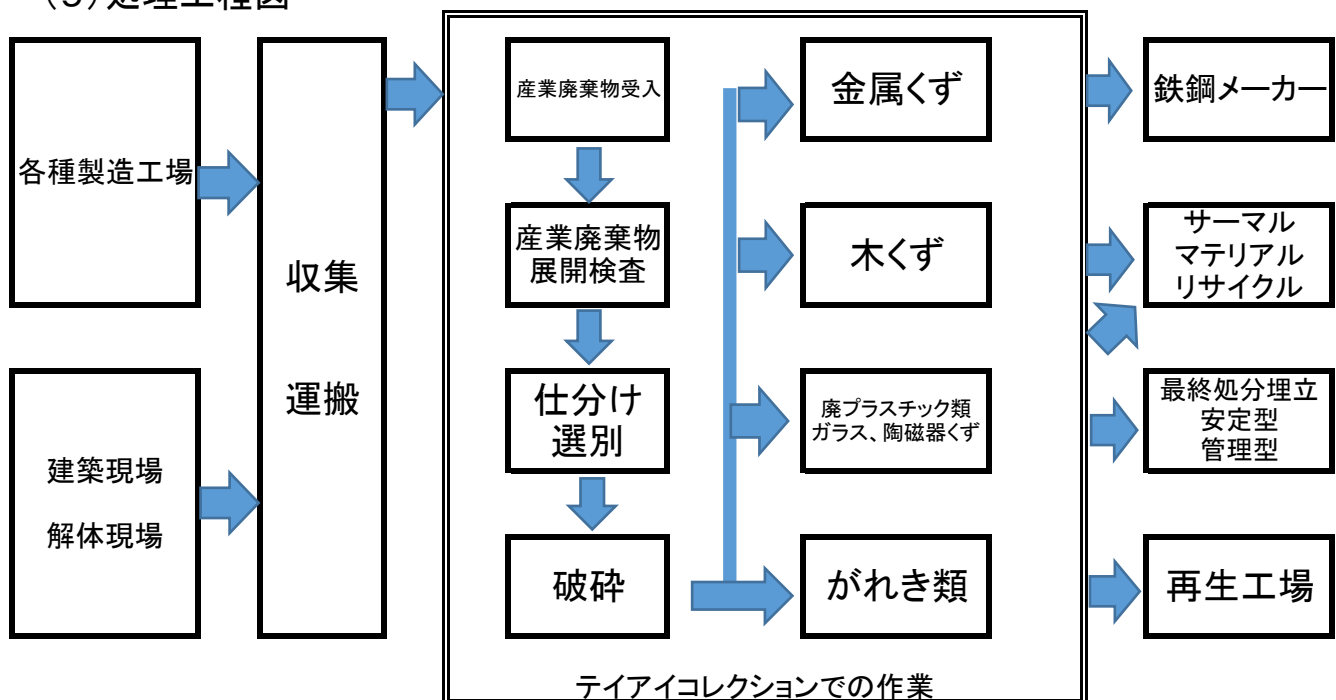
中間処理施設

施設名称	破砕機 (1基)	
設置・許可年月日	許可 平成 10 年 6 月 12 日	
処理能力	・廃プラスチック類 ・木くず ・ゴムくず ・金属くず ・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず ・がれき類	0.58t/時間 2.85t/時間 2.32t/時間 1.39t/時間 4.87t/時間 4.71t/時間

保有重機

保有重機	・油圧ショベル 6台 (0.75m³・0.4m³・0.25m³) ・ホイールローダ 3台 ・フォークリフト 3台
------	---

(9) 処理工程図



(10)産業廃棄物処理実績（2023年10月～2024年9月）

処分実績(破碎)

廃棄物等の種類	単位	中間処理量	中間処理後の廃棄物量		
			再生(有価物)	選別・焼却・再生化等	最終処分量
廃プラスチック類	t	2,740.87	19.77	1,496.92	1,224.18
木くず	t	874.99		832.36	42.63
金属くず	t	809.79	142.16	0.00	667.63
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	t	4,624.92		1,201.79	3,423.13
がれき類	t	1,268.28		275.67	992.61

収集運搬実績

品 目
2022年度実績

処分数量	単位
0.00	t

収集運搬の実績はなし。

2.対象範囲

当社はすべての事業活動、すべての組織を認証登録の対象範囲としている。

3.環境方針

環 境 方 針

有限会社テyaiコレクションは、地球環境にやさしい事業活動を目指し、地域住民との日常的な生活環境において、最も関わりの深い廃棄物の収集運搬業・処分業・解体業を通じて、環境との調和を経営の最高課題の一つとし、地球環境の維持と向上をアシストするために社会に貢献していきます。

全従業員が以下の方針に基づき地球環境への優しさを優先して行動します。

1. 廃棄物の収集運搬、処分、リサイクル業、解体業等の事業活動において、廃棄物の減容・削減・リサイクル及び節電・節水等の推進により環境保全に寄与します。
2. 当社の事業活動に関連する法規制等及び同意するその他の要求事項を遵守し、常に環境保全を意識して活動していきます。
3. 事業活動による事故、災害等の緊急時においても環境への汚染の防止と予防を徹底し、地球を守ります。
4. 環境方針は全従業員に周知徹底し、環境管理活動の目標等を活動の中で明らかにし、全従業員がそれぞれの役割、責任を意識して活動していきます。
5. 全従業員が正しい知識のもとで活動を行えるよう教育・訓練を実施し、環境保全に努めていきます。

2018年1月1日

有限会社 テyaiコレクション
代表取締役 荒井 知秀

4.環境負荷の推移

環境への負荷		単位	2021年	2022年	2023年	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO2	204318	191320	186402	
		kg-CO2				
② 受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	0.00	0.00	0.00	
	中間処理量	t	10962.64	10635.19	10318.85	
	うち再資源化等量	t				
	最終処分量	t				
	中間処理後の産廃の処分量	t	10710.20	10443.26	10156.92	
	中間処理後の産廃の再資源化等量	t	252.44	191.93	161.93	
③ 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	()	t			
		()	t			
		最終処分量	t			
	産業廃棄物	再生(有価物)	t	252.44	191.93	161.93
		選別・焼却・再生化等	t	3630.30	4308.47	3806.74
		最終処分量	t	7079.90	6134.79	6350.18
④-1 総排水量	公共用水域	m ³	236.00	218.00	220.00	
	下水道	m ³				
④-2 水使用量	上水	m ³	236.00	218.00	220.00	
	工業用水	m ³				
	地下水	m ³				
⑤ 化学物質使用量		kg				
		kg				
		kg				
⑥ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	kg-CO2	18675.00	15930.00	17368.00	
	化石燃料	kg-CO2	185642.00	175390.00	169034.00	
	新エネルギー					
	その他					
⑦ 物質使用量	資源使用量	t				
	循環資源使用量	t				
⑧ サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質量	t				
	水の利用量	m ³				

5.環境目標

中期目標

2022年度実績を基準として2025年度までの3年間で以下の目標で行う。

項 目	基準値	2023年度	2024年度	2025年度
電気使用量の削減(KWh)	36123	35762	35400	35039
軽油使用量の削減(L)	65361	64707	64054	63400
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	191320	189151	187236	185334
廃棄物減容率の監視(%)	35.1	35.0	35.0	35.0
水道使用量の監視(m ³)	218	250	250	250
グリーン購入(品)	19	20	20	20

※廃棄物減容率の目標については、毎月35%以上となるように常時監視していくこととした。

※水道使用量の目標については、年間使用量が250m³以下となるよう常時監視していくこととした。

※グリーン購入については使用数20を下回らないように商品の切替を監視する。

※電気の排出係数は2021年度公表の東京電力パワーグリッド(株) 調整後排出係数0.434を使用。

※二酸化炭素排出量は灯油及びガソリン使用量も基準年度使用量から毎年1%削減した数量。

※軽油使用量削減の目標は、受託した廃棄物の処分における環境配慮項目の目標でもある。

6.環境活動計画

(1)電気使用量の削減

- ・エアコンの適正温度設定。
- ・各機器、設備等の未使用時の電源OFFの徹底。
- ・ドアの開閉、ブラインドによる室内温度の維持。
- ・表示【節電】等による意識向上。



(2)軽油使用量の削減(環境配慮項目)

- ・重機等の出力調整を実行。
- ・重機等のエコドライブ & アクセルハーフ。
- ・アイドリングストップの徹底

(3)二酸化炭素排出量の削減

- ・電気使用量・軽油使用量削減

(4)廃棄物減容率の向上

- ・廃棄物の分別、破碎の徹底。
- ・再生利用の検討
- ・確認による印刷ミスの削減。

(5)水道使用量の削減

- ・こまめな節水。(垂れ流し厳禁)
- ・散水、各設備等の洗浄の節水。
- ・表示(節水)等による意識向上。



(6)グリーン購入

- ・グリーンマークのついた事務用品等へ購入切り替え。
- ・新たに事務用品を購入する際はグリーンマークがついているか確認。

7.環境目標の実績

2022年度の目標に対する実績は以下の通りである。

項目	目標	実績	目標との差	増減率(%)	達成／未達成
電気使用量(KWh)	35762	40019	+4257	+11.9	未達成
環境配慮項目 軽油使用量(L)	64707	62880	-1827	-2.8	達成
二酸化炭素排出量削減 (kg-CO2)	189151	186402	-2749	-1.5	達成
廃棄物減容率の向上(%)	35.0	38.3	+3.3	+9.4	達成
水道使用量の削減(m³)	250	220	-30	-12.0	達成
グリーン購入(品)	20	20	0	0.0	達成

※電気の排出係数は0.434を使用

8.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組のポイント

8-1 環境活動計画の取組結果とその評価

(1)電気使用量の削減 (未達成)

電気使用量が目標数量を大幅に超えてしまった。搬入数量は前年度より約3.3%減少しているが、搬入される廃棄物の一部に、破砕機を長時間フルに使用しなければ処理できない廃棄物があり、電気の使用量が増加したと思われる。今後も電気の使用量をチェックしながら経過を観察していく。

(10年間の搬入数量の推移を巻末にグラフ化しました。)

(2)軽油使用量削減(環境配慮項目) (達成)

CO2排出量の大分分を占める軽油使用量が削減できたため、目標達成できた。廃棄物の搬入数量が前年度から約3.3%減少したため、重機の使用頻度が減少し軽油使用量が減少したと思われる。

(3)二酸化炭素排出量の削減 (達成)

軽油使用量を削減することができたため、二酸化炭素排出量は目標を達成できた。今後も燃料節約節電の意識をもって作業に従事することが大切である。

(4)廃棄物減容率の向上 (達成)

今年度から目標値を35%へと引き上げたが、目標値を突破して大幅に改善できた。廃棄物を今までよりもさらに分別し、再資源化できるものを増やし、減量化を行った。廃棄物の搬入数量が前年度から約3.3%減少し、搬出数量は約8%減少した。

(廃棄物の減容率の変化を巻末にグラフ化しました。)

(5) 水道使用量の削減 (達成)

夏の暑い時期は散水を多めにしたので普段よりも2倍の量の水を使用した
が、それ以外の時期はあまり散水を行わずに作業を行った為、目標を達成
できた。

(6) グリーン購入 (達成)

グリーンマーク付の商品の利用を心掛けた結果として、目標を達成するこ
とができた。

8-2 次年度の取組のポイント

(1) 電気使用量の削減

廃棄物に適した破碎の回数や方法などを考えながら作業をすすめていく。

(2) 軽油使用量の削減

ハイパワーでの重機使用を避け、軽油使用量の削減を継続していく。

(3) 二酸化炭素排出量の削減

達成できなかった電気使用量の削減と、化石燃料の使用量を削減して、
二酸化炭素の排出量を減らしていく。

(4) 廃棄物減容率の向上

さらなる廃棄物の分別を行い再資源化をすすめていく。搬入過多や搬出
不足にならないように監視していく。

(4) 水道使用量の削減

場内には埃のたたない程度の必要な散水を行い、過度な散水は禁止す
る。

(5) グリーン購入

新規購入品や既存品の追加購入前にグリーンマーク付商品なのかを確認
してから、購入するようにしたい。

9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

9-1 主な環境関連法規制概要

法令等の名称	対象の施設・設備・業務等	守るべき内容	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業	収集運搬業許可証	○
	産業廃棄物処分業	処分業許可証	○
	産業廃棄物処分業・収集運搬業	委託契約書締結	○
	産業廃棄物排出事業者・処分業者	マニフェスト発行・返送管理	○
	水銀使用製品産業廃棄物	搬入不可 常時監視	○
建設リサイクル法	解体業	建設業許可証	○
大気汚染防止法		事前調査・打ち合わせ・説明	○
労働安全衛生法		解体工事に伴う必要な届出書	○
騒音規制法		安全作業の実施	○
振動規制法		確認・減失証明発行	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン	簡易点検	○

9-2 違反、訴訟等の有無

環境関連法規等に関して、2024年10月5日に遵守状況をチェックした結果、当社における環境関連法規への違反はありませんでした。
また、関係当局よりの違反等の指摘も過去5年間ありません。
同様に、訴訟等ありません。

10.代表者による全体評価と見直しの結果

新たに作成した中期目標で取り組んだ2023年度だったが、電気使用量が大幅にオーバーし、全項目達成はできなかった。軽油使用量が削減できたので二酸化炭素排出量は目標達成できたが、廃棄物の搬入数量の減少による軽油使用量減少とも思えるような結果となった。最終処分場の関係で、今までよりもさらに選別を行うようになり、その作業方法が身についてきたので、廃棄物の減容化も達成できたが、搬出先での搬入制限等によって、思った様に処理後の廃棄物を搬出できなかった事もあり、廃棄物の減容化も達成できてしまった感じもする。

エコアクション21の環境活動に取り組み、データーのチェックを常に行っているの
で、それを見ながら取引先の給油所に単価値下げ交渉を行ったりもした。

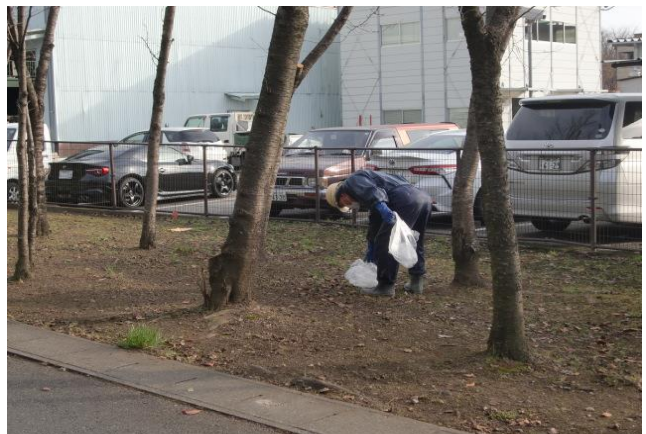
今後も節電・節水・節エネルギーに努め、環境に対する負荷の軽減を続けていきたいと思う。

	新たな修正・変更なし
環境目標	新に作成した中期目標に対して、全項目の目標達成を目指していくこと。
環境活動計画	引き続き電気代・燃料代が高止まりしているので、常に節約意識を忘れず、業務をすすめていくこと。
実施体制	現在の体制で上手く機能しているので変更なし。
環境経営システム	変更するところはないが、全員がよく理解すること。

11.その他の環境活動

(1)会社周辺の清掃活動

定期的に会社周辺の清掃活動を行っています。



(2)場内出入口付近の安全確保

前面道路及び歩道を通行する人や車の安全確保の為、作業時間中は場内出入口に誘導員を配置しております。



(3) 場内や周辺の環境負荷の状況をチェック
空間放射線量や騒音レベルの調査を行っています。



(4)場内の照明をLEDに取り替えています

照明が明るくなり、夕方の作業の安全性が高くなりました。



(5) 場内でメインに使用している重機を最新型に取り替えました



(6) 社有車をハイブリット車へ入替をしています



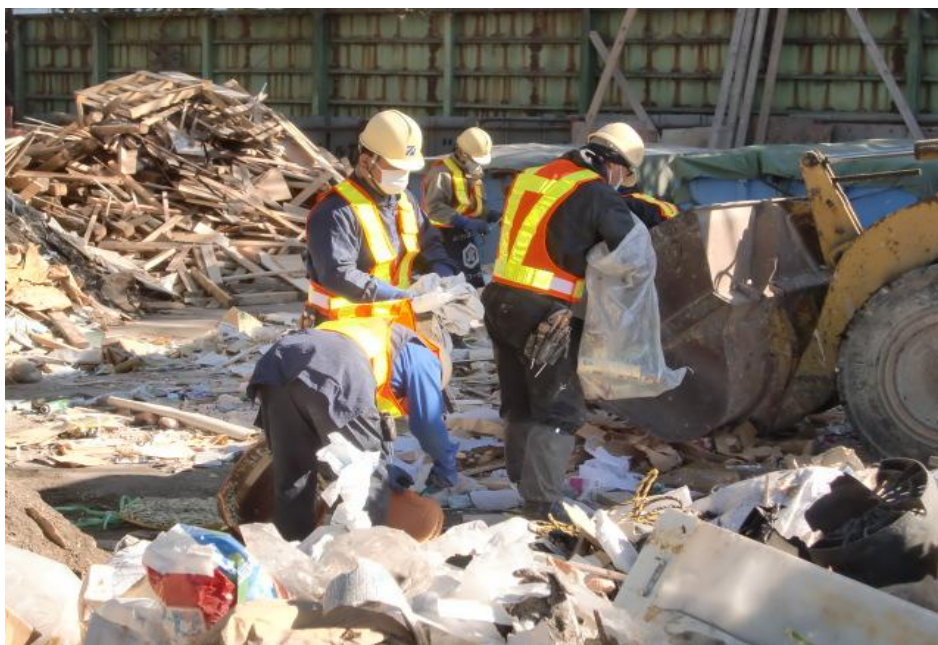
(7) 場内環境の整理・整頓に努めています



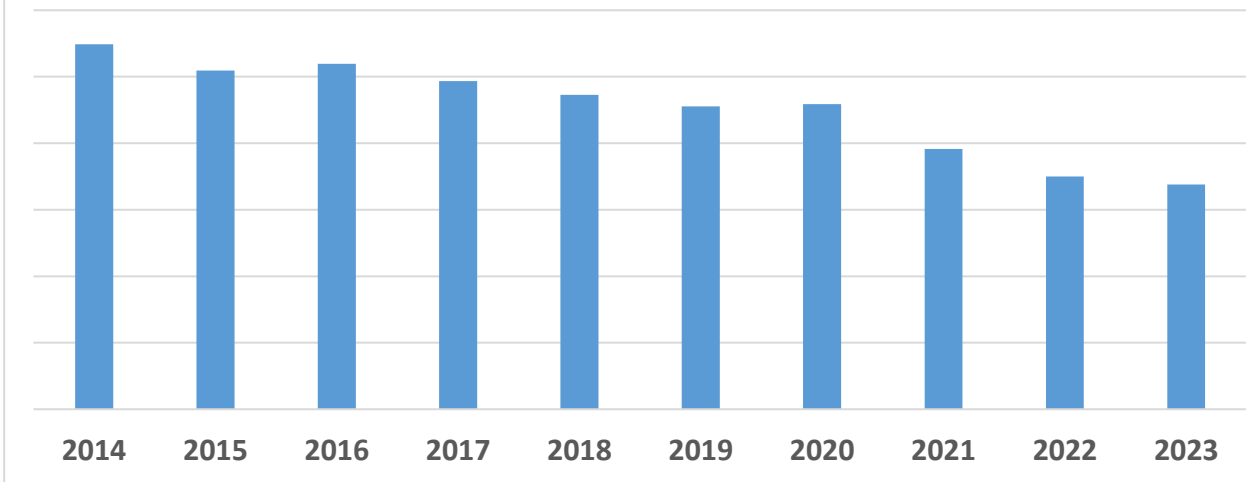
(8) 場内でメインに使用している重機を最新型に取り替えました(その2)



(9) 安全反射ベストを着用して作業を行っています

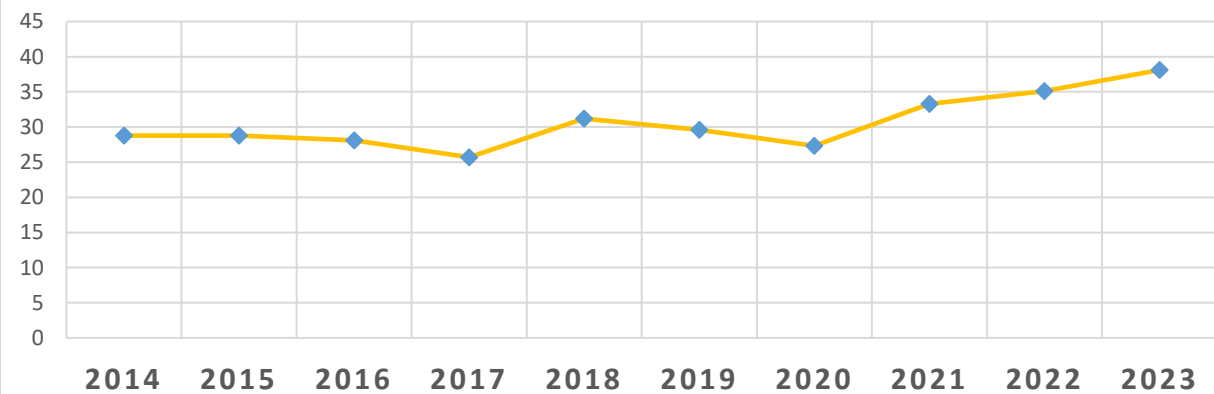


10年間の搬入数量の推移



(グラフの棒は搬入された廃棄物のm³数を表す)

廃棄物減容率の変化



(グラフの縦軸は減容率(%)を表す)